

# 学校適正化、座談会の意見どう活かすか

原 裕司議員



よりよい再編を考え、合意形成を図る  
教育長

立田・八開地区、座談会アンケート  
座談会はどうでしたか。

問	立田地区	八開地区	合計(人)	率
すごく良かった	20	11	31	29%
まあまあ良かった	28	29	57	54%
おおむね良かった	48	40	88	83%
あまり良くなかった	7	3	10	9%
全く良くなかった	2	0	2	2%
おおむね良くなかった	9	3	12	11%
未回答	2	4	6	6%
計	59	47	106	100%

▲座談会でのアンケート結果を抜粋

**問** 今後も、座談会などの意見を聞く機会を設けるのか。

**答** 形式にとらわれず、

今後、座談会などの意見を聞く機会を設けるのか。

今後、座談会などの意見を聞く機会を設けるのか。

**問** 座談会に多くの参加

者を得る工夫や配慮は。保護者の意見を踏まえ、各地区それぞれブロックに分け、参加しやすい時間帯や回数、利便性を考慮した集会所や公民館の活用。地域への全戸回覧や小学生保護者への個別案内、保育園や子育て支援センターなどにポスターを設置し、未就学児の保護者への周知を図った。また、託児体制をとり3世帯が利用した。

**問** 立田・八開地区で開催された座談会の目的や参加者状況は。

児童生徒数の推計からみる学校規模適正化の必要性、効果、取り組み内容に対して、心配や不安、子どものケアなど幅広く率直な意見を求め座談会を開催した。参加者は、立田地区69人、八開地区49人が参加した。

**問** 教育委員会は、座談会を終え、どのように評価しているか。

参加者へのアンケート項目「座談会はどうでしたか」「話したいことを話すことはできましたか」の回答では、「おおむね良かった」「おおむね話せた」割合は、立田地区が81%と92%、八開地区が両項目ともに85%となった。

**問** 統合による中学校の校名、校章、校歌や老朽化している佐屋中学校の校舎建設の考えは。

現在、進めている「第1期愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」策定後に検討を始める。

日程調整の上で実施する。